

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61052	美術科教育法Ⅱ	4単位 通年	3	講義	瑞慶山昇（非）

■テーマ 中学校及び高等学校の美術科教員として授業実践に必要とされる知識と技能の習得

■授業の概要

中学校美術・高等学校芸術（美術）の指導に必要な知識と技能を、講義やグループワーク等の活動を通して学び、模擬授業を体験することで実践的な能力を身に着ける。

■到達目標

- ・ 絵画・版画で表現する活動の学習指導案を作成し授業を実践することができる。
- ・ 彫刻で表現する活動の学習指導案を作成し授業を実践することができる。
- ・ デザインで表現する活動の学習指導案を作成し授業を実践することができる。
- ・ 工芸で表現する活動の学習指導案を作成し授業を実践することができる。
- ・ 映像メディアで表現する活動の学習指導案を作成し授業を実践することができる。
- ・ 鑑賞の活動の学習指導案を作成し授業を実践することができる。

■授業計画・方法

1. ガイダンス。授業全体の説明。
2. 学習形態の種類（一斉、個別、グループ）と方法の概説。
3. 授業技術（板書、参考作品の提示、声量、発問）の概説。
4. ワークシート作成と効果的な活用の概説。
5. 情報機器を活用した授業づくりの概説。
6. 絵画・版画で表現する活動の授業実践例研究。
7. 絵画・版画で表現する活動の模擬授業のためのグループ協議。
8. 絵画・版画で表現する活動の学習指導案の検討と作成。
9. 絵画・版画で表現する活動の模擬授業と授業評価。
10. 彫刻で表現する活動の授業実践例研究。
11. 彫刻で表現する活動の模擬授業のためのグループ協議。
12. 彫刻で表現する活動の学習指導案の検討と作成。
13. 彫刻で表現する活動の模擬授業と授業評価。
14. デザインで表現する活動の授業実践例研究。
15. デザインで表現する活動の模擬授業のためのグループ協議。
16. デザインで表現する活動の学習指導案の検討と作成。
17. デザインで表現する活動の模擬授業と授業評価。
18. 工芸で表現する活動の授業実践例研究。
19. 工芸で表現する活動の模擬授業のためのグループ協議。
20. 工芸で表現する活動の学習指導案の検討と作成。
21. 工芸で表現する活動の模擬授業と授業評価。
22. 映像メディアで表現する活動の授業実践例研究。
23. 映像メディアで表現する活動の模擬授業のためのグループ協議。
24. 映像メディアで表現する活動の学習指導案の検討と作成。
25. 映像メディアで表現する活動の模擬授業と授業評価。
26. 鑑賞の活動の授業実践例研究。
27. 鑑賞の活動の模擬授業のためのグループ協議。

28. 鑑賞の活動の学習指導案の検討と作成。
29. 鑑賞の活動の模擬授業と授業評価。
30. 授業のまとめ。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・受講者は、美術科教育法Ⅰを履修しておくこと。
- ・グループワークでの授業では積極的に討議に参加すること。

■成績評価の方法・基準

- 方法 平常点(30%)、模擬授業(40%)、期末レポート(30%) 平常点は授業への参加状況、提出物等で総合的に評価する。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

- 教科書 特になし
- テキスト 必要な資料（プリント）を随時配布する。
- 参考文献
 - ・中学校学習指導要領解説「美術編」（最新版）
 - ・高等学校学習指導要領解説「芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編」（最新版）